

私は、成美小学校の学童でインターンシップをさせていただきました。

一日目の午前中は中遊びでした。担当の先生の指示で児童と折り紙をしました。三年生の女の子の提案でハートを折ることになりました。私は折ったことがなかったのでその子が一生懸命に教えてくれました。そのあと UNO をしました。男の子が「保護者の迎えがみんなよりも遅いから、先生と一緒にいてくれてうれしい」と言ってくれました。実習最初から緊張していたので、そう言ってもらえて安心しました。その後もその子の寂しさが少しでもまぎればと思いながら、トランプや LEGO をして遊びました。午後は外遊びをしました。外遊びの時は第二保育室の子と遊びました。第二保育室の男の子三人の中で流行っている「にわとりごっこ」を教えてくれました。色々自分たちでルールを作り、考えて遊んでいて発想力がすごいなと思いました。

二日目は、午前中は夏祭りの用意をしました。夏祭り中、私は輪投げ担当でした。学年ごとに投げる距離を変えようと、担当の五年生の子が工夫していました。忙しかったけれど、子供たちは、ちゃんと話を聞いてくれて、順番を守ってくれたのでスムーズにできました。途中で「もう何もしたくない、暇だ」と言っている子がいました。その子に何度も話しかけてみましたがずっと「何もしたくない、あきた」と言っていてすごく困りました。「輪投げもう一回する？」とか「園舎の方まだまわってないから行こう」など声掛けをしました。私はその子に対して声掛けしかできませんでしたが、担当の先生がきてくれて適切な対応をしてくれました。子供の意見や意思を尊重することが大切なんだなと感じました。

三日目は、外遊びでした。外遊び中に2年生の女の子が一輪車から落ちてしまい、痛いし怖かったはずなのに泣かずに砂をはらっていて「泣かずにえらいね」と声を掛けました。午後はみんなでレクリエーションをしました。みんな楽しかったと言ってくれてうれしかったです。でも、高学年の女の子たちがあまり参加してくれなかったのも、みんなが楽しめることを考えられるとよかったなと後悔もしました。最後には三年生の女の子たちがお手紙をくれました。これからも頑張ってくださいなど書いていてくれて、うれしすぎて涙が出そうでした。

三日間インターンシップを通して、子供たちは素直に気持ちをぶつけてくれ、感情のコントロールを形成する時期だからこそ、落ち着いて冷静に対処することの大切さ、いろいろな子に合わせた対応の仕方を学ぶことができました。

この三日間インターンシップに参加させていただき、ありがとうございました。たくさんの経験をさせていただき、自分自身すごく成長できた三日間だなと実感しています。

一日目では、午前には宿題と中遊びをしました。初めて会う子たちに戸惑っている中、みんな「先生のお名前なに？」と笑顔で近づいてきてくれたことで、ものすごく緊張がほぐれたことを覚えています。中遊びでは、けんかになってしまう子たちも多く、対処に困りましたが、みんな一人一人の話を聞くと、素直に「ごめんね」と謝っている姿を見て、少しうれしくなりました。

二日目は、夏祭りの準備と本番です。私はポップコーン、コロケ、フランクフルトを担当しました。小五、六年生の子のサポート係としてしっかり動くことができましたと思います。準備から片付けまで子供たちや先生方と協力して頑張ったので、みんなの笑顔がものすごくうれしくて、こっちまで笑顔になりました。

三日目は、自分たちで考えた出し物を子供たちに披露しました。みんな私たちが準備したクイズを、一生懸命解いてくれました。問題を出している私たちも楽しく出題することができました。最後の外遊びも、熱中症やけがに気をつけて、みんなで楽しく遊ぶことができて良かったです。

この三日間を通して、私は子供の精神面はとっても繊細で、デリケートなものなんだなと感じました。子供たちと接する際、どう対応しているのかわからない部分も多々ありました。どうしてほしいのか、なにを望んでいるのか、読み取ることが一番難しかったです。ですが、学童の職員の方々は一人一人ときっちり向き合って問題を解決していて、その難しさを理解し実感した上で、さすがだなと感じた場面が多かったです。子供たちと接していくうちに自分もたくさんの成長ができ、貴重な経験をさせていただきました。本当に三日間ありがとうございました。

成美小学校の学童のインターシップを通して、最初は慣れないことばかりで上手く子供たちと関わるのは難しく、不安でいっぱいでしたが、学童の子供たちが「先生！」と声をかけに来てくれたり、いろんな遊びに誘ってくれたりしてくれたおかげで自分も自然に慣れ、とても充実した三日間になりました。

一日目は自己紹介をしました。そのあと子供たちと折り紙をしました。私は折り紙が苦手でしたが、子供たちからたくさん折り方を教えてもらいました。アサガオやクワガタなどを折って「先生にあげる」とたくさん声をかけてもらえてうれしく感じました。折り紙をしていたらたくさんの子供たちが寄ってきてくれて、一人でいた子やあまり馴染めていない子ともコミュニケーションを積極的にとり、みんなと仲良く遊ぶことができました。

二日目は、夏祭りをしました。朝からヨーヨーを作りました。暑い中ヨーヨーを作るのは、すごく大変で体力を消耗しました。13時から夏祭りが始まり、私はボウリングを担当しました。お店のお手伝いに小学五年生の子たちがいてくれたことで無事夏祭りを終えることができました。子供の遊びを支えるだけでなく、楽しんでもらうための準備にも体力が必要だと感じました。

三日目は、昨日いた子が欠席だったり初めて会う子がいたりしました。勉強を教えてあげると「わかった！」と言って集中する姿に、教えてよかったと思いました。そのあとは外遊びをしました。セミ取りやおにごっこ、ドッジボールをしました。この日はすごく暑くて10分～15分ごとに休憩をしながらでしたが、子供たちが元気に遊んでいる姿を見て、自分も元気もらいました。みんな素直で思っていることを伝えてくれるので、トラブルもたくさん起きてしまいましたが、先生が話し合いに入ることで解決することができました。お昼ご飯を食べた後、ジェスチャーゲームと猛獣狩りをしました。みんなすごく楽しんでくれて大成功でした。最後に帰りの挨拶をした後、子供たちが「明日も来て」や「帰らんといて」と言って泣いている子もいて自分も泣きそうになりました。三日間という短い間でしたが、このインターシップで学んだことを忘れずに今後や将来に活かしていきます。本当に濃い三日間でした。ありがとうございました。

この三日間、インターンシップに参加させていただきありがとうございました。私はこのインターンシップで多くのことを学ばせていただきました。

一日目は、子供たちに勉強を教えたり、中遊びや外遊びをしたりしました。勉強でわからない所があって困っている子がいました。その時に、「先生教えて。」と言われました。積極的に子供たちと関わり、徐々に自分からもどんどん話せるようになりました。中遊びでは、トラブルのないように遊ぶことを心掛けていました。ブロックで遊んだり、トランプをしたり、絵を書いたりいろいろな遊びをしました。外遊びでは、子供たちの体調を一番に考えて行動しました。鬼ごっこの途中でも水分補給をこまめにとりました。

二日目は、夏祭りの準備をしました。ヨーヨーを作ったり、コロッケを袋に詰めたり、アイスを作ったり、ジュースを注いだりしました。アイスの準備をしている時、ジュース係の人が一人で準備をしていたので私が手伝いに行きました。すると、「先生、手伝ってくれてありがとうございます。」と言われました。途中で六年生の子と一緒にジュースを注ぎました。子供たちに、「このアイス美味しい。」「もっとジュースちょうだい。」と言われてとてもうれしかったです。子供たちが楽しそうなところを見ると、こっちまで楽しい気持ちになりました。

三日目は、自分たちが作ったクイズをしました。クイズをしている時、子供たちがいろんな答えを出していました。「先生楽しい。」「もっと問題出して。」と言われました。とてもうれしくなり、頑張ってクイズを作ってよかったなと思いました。

この三日間、先生方や子供たちのおかげでいろんな事に気付きました。私が一番楽しかった事は、外遊びの鬼ごっこです。子供たちが笑顔で楽しそうにしていると私もすごく楽しかったし、子供たちと距離が近くなってうれしかったからです。私にとってとても良い経験になりました。とても短い時間でしたが、ありがとうございました。

私がインターンシップで行かせていただいた場所は成美放課後児童クラブというところでした。私はこの3日間でたくさんの子供たち、支援の先生方と関わり様々な事を学びました。1日目はまず名前と顔を覚えてもらえるように自己紹介をし、子供たちに勉強を教えたり、ゲームをしたりして遊びました。勉強を教えている最中にも子供たちは私の名札を見て「なんて読むの?」と言って名前を聞いてくれたり、「〇〇先生勉強教えて!」と言われ、先生と呼ばれることに不思議な感じがしました。遊びの時間にはレゴブロックやトランプをしました。レゴブロックで家などを作ったり、その他にも駒を作っている子がいたりして、自分の考えで物づくりを楽しんでいて子供の想像力のすごさに感動しました。

2日目は、学童で行われる夏祭りの準備などを手伝いました。私はヨーヨーとスーパーボールを扱う担当でした。ヨーヨー作りは初めてだったので、思っていたよりも難しく苦戦しました。でも、5年生の児童がとても上手にヨーヨーを作ってくれたので大変助かりました。夏祭り本番が始まると私が担当するクラスは、子供たちでいっぱいになりました。ヨーヨーもスーパーボールも個数が決められていて取り合いにならないように配慮されていました。スーパーボールではポイが破れてしまって1つも取れなかった子のために、好きなものを選んでいいよと声掛けをしている子がいて優しいなと思いました。片付けの時間になると、担当以外の子供たちも使ったものの片付けを積極的に手伝おうとしてくれて、とても嬉しい気持ちになりました。

3日目は、自分たちで考えたゲームでみんなと遊びました。私のクラスは人数が少なかったので少人数でも遊べるゲームを考え、だるまさんが転んだと宝探しをしました。みんな最後まで「次は私が〇〇する!」と楽しそうに遊んでくれてよかったです。

3日間で子供と関わる上で大切なことをたくさん学びました。ほめることも大切だということや、トラブルになったときはちゃんと注意すること、相手にきちんと分かるまで教えることの大切さを学びました。